

俺なんか、
生きてたってしょうがない。

安心できる、自分の居場所がほしい。

出所したって、
何も変わらないよ。

まじめに働いて、普通の暮らしがしたい。

あなたなら、
どう応えますか。



更生保護

犯罪や非行をした人の立ち直りを支援し、犯罪や非行のない社会をつくるための事業・活動です。地域のボランティアによって支えられています。

立ち直りを支えるボランティア

保護司：犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。

更生保護施設：住まいや食事に困っている人たちに、これを提供し、生活の指導などを行なう民間の施設です。

更生保護女性会：地域の犯罪予防や立ち直りを支援するボランティア団体です。

BBS会“Big Brothers and Sisters Movement”：兄や姉のように少年たちと接し、地域に根ざした非行防止活動などを行う青年ボランティア団体です。

協力雇用主：雇用したり、就労を助けて、自立を支援する民間事業者です。

“社会を明るくする運動”

～ 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

更生保護の考え方を基本として、一人ひとりが「できること」を見つけ、具体的な行動を起こす。それが“社会を明るくする運動”です。運動についての詳しい情報は、ホームページ

でご紹介していますので、ぜひホームページを見てみてください。



更生保護ネットワークのホームページ
www.kouseiho-net.jp



君の声を聴かせて。

犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ

社会を明るくする運動

君の声を聴かせて。

あんな親なんて、
どうでもいいよ。

ホントは家族と一緒に暮らしたい。

私の気持ちを
誰もわかってくれない。

心から信じられる大人に出逢いたい。

家にいたって
面白くもなんともない。

自分のことをもっと見て欲しい。

その声に耳をすまし、支える人がいます。

少年の立ち直りを支えた
本気の愛情。



保護司/岩瀬絹代さん

ひどく反抗的な少年から浴びせられた罵声や暴言。怖いというより、ただただ可哀想で涙が出た。大切なのは、口先だけじゃない本気の愛情。ある日、小さな声ではっきりと言ってくれた「ありがとう」。担当する少年も、近所の子どもも、自分の子どもも、みんなかけがえのない宝物なのよ。

自分自身が
信頼される大人に
なること。



更生保護施設職員/後藤圭子さん

悲しいことだけれど、ここに来る子たちの多くが、大人を信じられなくなっていた。だからこそ、まず私が彼女たちを心から信じ、世の中には信じられる大人もいることを知ってもらいたかった。信じてもらうことで得られた小さな自信が、立ち直りの大きな一歩になるのだから。

女性だから、
おばさんだから、
できること。



更生保護女性会会員/片山良子さん

成人式を迎える彼女のために女性会会員で着付けをしてあげた。無表情だった彼女が、着物を着終わる頃には笑顔を見せてくれるようになった。自分を大切に思ってくれる人がいれば、誰だって自分を大切にしようになる。女性だから、おばさんだから、できることがあるのよ。

このような活動が更生保護なのです。

彼らの友だちとして、
まず自分から心を開く。



BBS会員/大原天青さん

彼らと友だちのように触れ合い、その立ち直りを支えていくのが「ともだち活動」。一緒に食事をしたり、ゲームをしたり。時には、一緒に受験勉強に取り組んだこともある。もちろん、最初から上手にいくわけではない。大切なのは、まず自分自身が心を開くことなんだ。

人生にとって大切な、
4つの「こと」。



協力雇用主・保護司/渡辺道代さん
協力雇用主/渡辺英憲さん

彼らの居場所をつくってあげたくて、ダイレクトメールの封入会社を経営。指導する時は厳しく、上手にできたら思い切りほめる。愛されること、ほめられること、役に立つこと、必要とされること。人生にとって大切な、そんな経験があれば、きっと立ち直れると信じている。

犯罪や非行をした人の
立ち直りを支えることについて、
皆さんも一緒に考えてみませんか？